

「乳癌患者さんの経済的負担に関するアンケート」

調査内容のご説明

1. 調査の目的

この調査では、乳癌治療を行った患者さんの経済的負担を調べることを目的としています。この調査を通して、より良い乳癌治療のあり方を検討していきたいと考えております。

2. 調査の方法

この説明をお読みになり、調査にご協力いただける場合はQRコードを読み取り、アンケートに回答してください。アンケート記入にかかる時間は約 20-25 分程度です。アンケートは匿名で、記名の欄はありません。

3. 参加の自由について

この調査は、みなさまの人権が守られるように慎重に検討し、癌研究会有明病院の承認を得て実施しております。この調査へ回答するかどうかは自由です。たとえお断りになっても、不利益はございません。なお、本研究は研究機関長の許可を得て実施しております。

4. 研究参加により予想される利益と不利益

この調査がすぐにみなさまのお役に立つことはありませんが、調査の結果を今後の乳癌診療に反映させることで、みなさまのお役に立てるよう努めてまいります。

5. この調査で健康被害が発生した場合について

この調査にご協力いただくことで、みなさまの健康を害することはございませんが、この調査に協力いただいた後に、お身体やご気分の不調を感じられたときは、すぐ担当医に申し出て下さい。なお、万が一医学的対応が必要となった場合、用いられる保険は健康保険となり、この研究における補償金は発生いたしません。

6. この研究の実施予定期間とあなたに参加いただく期間

この調査は結果の解析や公表を含め、2020 年 11 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに終了する予定となっております。

7. 個人情報や調査の取り扱いについて

この調査であなたにお答えいただいた内容は研究事務局で管理します。調査はすべて匿名ですので、主治医や治療に関わる医療者があなたの回答内容を見ることはございません。この研究への参加の有無が診療に影響することはありません。この調査から得られた結果は、国内外の学術誌および学会等で公表いたします。発表に際し、個人の情報や回答内容が公開されることは一切ございません。

アンケートはパスワード管理されたパソコンで研究終了後 5 年間は厳重に保管した後、破棄いたします。この調査目的以外に使用することはありません。研究以外の目的に使用されることもございません。

8. この調査の資金と利益相反について

利益相反とは、研究者が企業等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。本研究は平成 31 年日本乳癌学会研究助成「日本における乳癌治療による経済的負担への意識に関する研究」班（研究代表者：大野 真司 がん研究会有明病院 乳腺センター）の一環として実施されます。本研究に関して起こりうる利益相反はありません。

9. 研究組織と連絡先

この研究の研究責任者はがん研究会有明病院 乳腺センター大野 真司です。この研究についてお知りになりたいことや心配なことがございましたら、下記まで御連絡下さい。

〒104-0045 東京都江東区有明 3-8-31 電話： 03-3520-0111

10. 研究体制

研究代表者：大野 真司（がん研究会有明病院 乳腺センター）

分担研究者： 岩谷胤生（国立がん研究センター東病院 乳腺外科）

北野敦子（聖路加国際病院 腫瘍内科）

桜井なおみ（キャンサー・ソリューションズ）

田辺裕子（虎の門病院 臨床腫瘍科）

山内智香子（滋賀県立総合病院 放射線治療科）

研究協力者： 五十嵐中（横浜市立大学 医学群健康社会医学ユニット）

久芳さやか（長崎大学 移植・消化器外科）

原文堅（がん研究会有明病院 乳腺内科）

佐伯澄人（東北大学大学院医学系研究科がん治療外科学）

相良 安昭（相良病院 乳腺科）